

# 診断京都

一般社団法人 京都府中小企業診断協会

No.129  
2020年 春号



## 令和2年度のスタートに向けて

～ Change (変化) Challenge (挑戦) Contribution (貢献) ～

日ごろは一般社団法人京都府中小企業診断協会（京都協会）の活動にご理解とご高配を賜りありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

令和元年度の京都協会は、前身の中小企業診断協会・京都支部の創設60周年記念大会を始め、様々なイベント等に取り組み、お蔭をもちましてそれぞれ盛況のうちに幕を下ろすことができました。組合の閉鎖、結了手続きも終了しました。また、会員数は180名を超え、当面の目標である200名にまた一歩近づきました。社会貢献積立についても、速報値ではありますが、継続できる見通しです。会員諸氏並びに行政、支援機関、金融機関等々の皆様のご協力に重ねて厚く御礼申し上げます。



また、わが国経済は、年末までは総じて「内需が堅調な一方で、外需の伸び悩みで製造業生産は低迷している」といった感じで推移しました。上半期は、改元祝福ムードや5月の10連休での海外旅行の増加、秋のラグビーワールドカップの盛り上がりなどが見られました。しかし、下期に入ると、消費税率の引き上げや、台風15号、19号の影響なども重なり、鋳工業の生産指数は10月から落ち込みが見られ、年末に向けても改善の兆しは見られませんでした。個人消費は軽減税率の導入やキャッシュレスポイント還元などもあり、飲食や観光、ホテルなどでやや陰りが見られたものの、12月までは大きな落ち込みは見られませんでした。そうした中で年が明け、さあ東京オリンピックだ、パラリンピックだと言っている矢

先に新型コロナウイルスによる「コロナ・ショック」が世界を席卷しました。わが国でも感染が拡大し、政府は2月26日、27日に、スポーツや文化イベント等の開催の必要性の検討を要請するとともに、小中高の一斉休校などの方針を発表しました。これを受け、京都協会も2月28日に、集会やイベント、研究会の開催等について当面の3月31日までの指針と具体策を周知徹底しました。3月に入ってもなお感染は拡大しています。亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、1日も早い終息を願ってやみません。経済面でも大きな打撃を受けることが避けられない状況になってきました。マスクやトイレットペーパー、アルコール手指消毒液など一部でパニック状態も見られます。これから先の想像はつきませんが、京都協会としては～Change (変化) Challenge (挑戦) Contribution (貢献) ～の3Cの下、冷静に正しい危機感を持って産学公の多方面と連携し、できる限りの協力、中小企業支援に取り組んで参ります。みなさまにおかれましても、このたびの「コロナ・ショック」に冷静に、かつ、悔ることなく諸事にご対応いただきますよう切にお願いする次第です。

令和2年度の具体的な事業計画については5月の総会と新役員に委ねたいと思います。ただ、1月の本誌冬号でも記しましたように、既存事業に加えて、休日の無料創業相談会の回数増、本誌『診断京都』の仕様並びに紙面の刷新、令和3年の京都協会設立10周年に向けた記念行事の準備等々には取り組んで参りたいと思っています。引き続き京都協会の活動への、ご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。 (山脇 康彦)

# 京の起業家

京都商工会議所よりご紹介をいただき、京都市中京区で2019年8月にカフェ「TRIBUTE COFFEE（トリビュートコーヒー）」を開業された栗林寛様にお話を伺いました。



店主の栗林さん

## ■開業の経緯を教えてください

もともとコーヒーが好きで、大手外資系コーヒーチェーンに20年間勤め、店長から本社勤務、エリアマネージャーなど幅広く経験しました。そこでの企業理念にも共感していたため、かなり悩んだ上での決断ではあるのですが、コーヒー豆や自家焙煎にもっとこだわりたいという思いや自分のこの先の人生を考えた時、定年を過ぎたその先もこの商売を続けたいという気持ちが募り、独立開業にいたりしました。妻が賛同してくれたことは大きな後押しになりました。

## ■この物件はどのように探しましたか

自分が目標とする落ち着いた雰囲気のお店は路地裏にあることが多く、当初は郊外を含めて幅広く探していたのですが、この物件と出会いました。街中ですが、ビルの3階であれば、都会の喧騒を忘れてくつろぐことのできるお店を作れるのではないかと思います、ここに決めました。駅から近く、窓が北と西の2方向にあり自然光の差し込み方がとても良いのも気に入りました。

## ■お店のコンセプトは何でしょうか

職場でも家でもないサードプレイス（第3の居場所）として、居心地のいい空間でこだわりのコーヒーを楽しみくつろいでいただくことをコンセプトにしています。

当店のコーヒーは、生産、流通、抽出それぞれのプロセスで一定の基準をクリアしたスペシャルティコーヒーを自家焙煎し、ハンドドリップで提供しています。コーヒー豆は産地指定のシングルオリジンの豆5～6種類の中から選んでいただけます。生豆は神戸の間屋から仕入れています。豆の品質の良さはもちろんですが、生産者を大切にする理念にも共感して、お取り引きさせていただいています。また、カフェオレに使用している牛乳も京都美山のものを用いて、ケーキやコーヒーペアリングプレートなどコーヒーにあわせるサイドメニューも厳選しています。

内装は、北欧の室内空間をイメージして、デザインしました。イスやテーブルなどのインテリア、食器などは自分で選び、窓から差し込む光や間接照明、スポットライトなどで店内の明るさを調整し、シンプルでいて、温かく落ち着きのある空間を心掛けました。また、お越しになられたお客様がそれぞれに居心地よく、お過



ハンドドリップコーヒーと美山産チーズケーキ



お店の雰囲気

ごしいただけるよう、店主と会話をしたい時は気軽にできる、ひとりの時間を楽しみたい時は無理に会話をしない、お客様とお店がほどよい距離感でいられるような、そんな空間を意識して、接客しています。

### ■どのように集客をしていますか

今は、InstagramやLINEなどのSNS活用、ショップカードの他店設置、雑誌媒体への掲載等でお店を知っていただけるよう、努力しています。SNSでの発信は自店のことだけでなく、自分が訪れたコーヒー店の紹介なども行い、自分と同じコーヒー好きな方への情報発信になればと思っています。また、地元商店のコミュニティにも積極的に参加することで、自身の交流の輪もゆるやかに広がっています。

### ■商工会議所からはどのような支援を受けましたか

2019年1月スタートの創業塾に参加して、お店のコンセプトや事業計画づくりのご指導をいただきました。卒塾後も経営支援員さんに定期的にフォローいただいております。とてもお世話になっています。直近ではSNS活用の専門家による個別相談会をご紹介いただきました。

### ■今後の目標を教えてください

長くお客さまにご愛顧いただき、お客様同士もつながれるような場所となることが理想です。そのための試みのひとつとして、読書会なども企画しています。

また、ご家庭でもコーヒーを楽しむ方のお役に立ちたいと思い、コーヒー豆の販売にも力を入れています。10g単位の少量から、お試しでご購入いただけます。多くの方がご自身でコーヒーを美味しく淹れられるように、ゆくゆくはコーヒーの淹れ方教室なども開催したいです。

(取材 松下 晶)

### 【京都商工会議所 経営支援員 伊佐氏より】

栗林さんに選び抜かれたこだわりのコーヒーとコーヒーの美味しさを引き立たせるスイーツ、そしてインテリア、食器一つひとつにセンスが光る落ち着いたある優しい空間。美味しいコーヒーを飲みに、一人の時間を楽しみに、癒しを求めに、家族や友達とおしゃべりをするために、いろんな方がお越しになられます。この素敵なカフェにもっとたくさんの人が足を運んでくださるよう、本所も全力で応援しています！

### 店舗情報

#### ■ TRIBUTE COFFEE (トリビュートコーヒー)

<https://www.tribute-coffee-kyoto.com/>

〒604-8005 京都市中京区河原町三条上ル

恵比須町435-2 土方ビル3階

営業時間 12時から20時まで

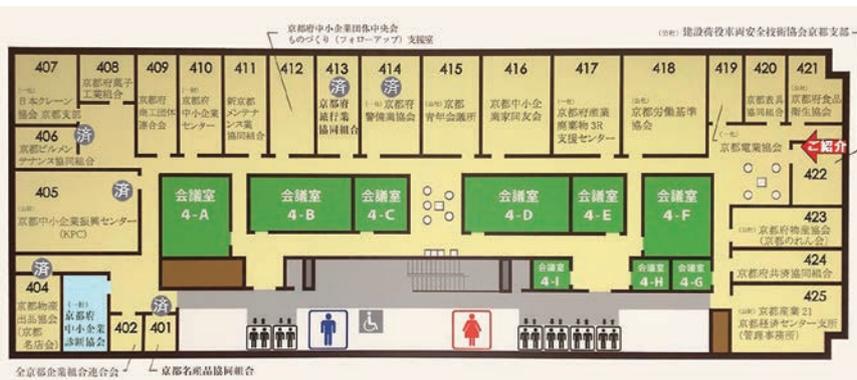
月曜休 (但し月曜が祝日の場合は営業し、翌火曜休み)

TEL：075-223-6565

E-mail：info@tribute-coffee-kyoto.com

# 京都経済センターのご近所さんご紹介

4階に入居されている団体や組合は多様で、この取材・連載をきっかけに視野が広がります。私たち診断協会も実はあまり知られていないので、診断協会の会員と4階の入居者様がお知り合いになればまた新たな取り組みが広がりそうな気がします。



## 422号室 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会

今回は公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会通称（建荷協：けんにきょう）の事務局長の山口康弘様と事務局員の鈴木小鈴様にお話しをお伺いしました。



事務局スタッフ

こちらの協会は、建設荷役車両に関わる事業者の労働災害防止・経営基盤強化のためにサポートを行われています。建設荷役車両というのは、私たちが工事現場や建設現場で目にする、ブルドーザーや、ショベルカー、フォークリフト、高所作業車などのことです。安全のための定期的な特定自主検査制度の運用のため、検査の推進と検査ができる資格者の育成や、安全のための研修教育をされています。建設機械と荷役運搬機械は、労働安全衛生法によって定期（特定）自主検査が義務付けられているそうです。

お話しをお伺いする中で鈴木様より「自動車の車検屋さんの建機バージョンのようなですよ」と分かりやすく教えていただき、ずっと理解できました。ただ、自動車と違って建設機械は実に様々な種類があり、その種類ごとに検査項目が細かく決められています。事業者は、検査が済んだ機械の見やすい箇所に検査を実施した年月がはいっているステッカー（標章）を貼付することが義務付けられています。そのステッカーを発行しているのがこちらの協会です。

建荷協は東京に本部があり各都道府県に支部を置いており、京都支部は今年で38年、会員数は55社、検査・整備業、メーカー、ユーザー、リース・レンタル業者などの建設荷役車両に関わる事業者さんが会員とのこと。京都支部では、特に京都府南部や北部の会員事業者が多いので、事務手続きが省力化できるように仕組みを改善し、事業者側が手間をかけないで良いようにしているそうです。また、研修以外でも普段から現場で起こった労働災害についての最新情報を集め発信するなど、会員事業者の労働災害防止に寄与される活動を行われています。

建設荷役車両を使っている現場は、いつも私たちの日常で目にしています。たくさんの種類の建機があること、そしてその安全が毎年の検査によって守られており、ステッカーが貼られていることを初めて知りました。早速建設現場で、ショベルカーを見てみると、前のフロント部分に緑のステッカーが貼られていました。是非皆様も普段から目にする建機に目を止めてみてくださいね。

（取材：阪本 純子）



研修風景

今号より京都の支援機関や特色ある中小企業を紹介する記事をお届けします。1回目は京都市ソーシャルイノベーション研究所 (SILK) (以下SILKと表記) をご紹介します。リサーチパークASTEM内にあるSILKにお邪魔して、チーフ・コンシェルジュの川勝美智子さんにお話をお伺いしました。

## 社会的課題を解決、 そして社会的課題を生まないために

—SILKとはどんな団体ですか？



チーフ・  
コンシェルジュの  
川勝美智子さん

2015年4月に「京都市ソーシャル・イノベーション・クラスター構想」に基づいてその推進拠点として設置されました。新たな価値を創出するソーシャルイノベーションに取り組む個人や企業を応援して、持続可能な社会を目指すことを目的にしています。既存企業に対して

「社会における自社のあり方」を考えるきっかけにさせていただいたり、他社との差別化を図る手段のひとつとして社会性を打ち出すことや、「取引先や顧客などみんながどうやったら幸せになれるのだろう」という視点を持っていただく働きかけをしています。社会的課題との関連性に特化した支援機関とも言えます。現在SILKのスタッフは10名程で、兼職の方も多く専任スタッフは1名だけです。SILKだけでできることは限りがあるので、理念に共感した企業、団体等の支援パートナーとともに活動を行っています。京都府中小企業診断協会も支援パートナーです。

## 人と人をつなぐ、コラボレーションの力

—どんな取り組みをされているのですか？

「これからの1000年を紡ぐ企業認定」制度では「四方よし」※の企業を認定しています。京都に店舗や事務所がある企業から公募して、社会性、革新性、事業性の観点で審査します。認定後、全体的に従業員数や売上高などが増加しており、ビジネスと社会性の両方ができているのです。認定した企業に対してはPRや求人のお手伝いなどの支援のほか、行政・大学・企業等のマッチングも行っております。行政との事例では、京都市の担当課におつなぎし、京都市内の出生届を出された

ご家庭にギフトを贈る「イチバンボシギフト」に、認定企業のIKEUCHI ORGANIC (株) 様や (株) 坂ノ途中様などの商品が採用されました。

また月1回程度「SILK オープンデー」を開催しています。お茶を飲みながら気軽に相談できる場ですが、そこで出会った参加者同士での取組につながったケースもあります。

そのほか西京区ではまちづくりという目線で、個々人のやりたいことを応援して「小商い」を活性化させようという「未来の西京まち結び」事業を実施し、ウォーキングツアーを主宰されている方など、やりたいことを実現している方に登壇いただいてワークショップを開催しました。

※四方よし：三方よし (売り手よし、買い手よし、世間よし)  
+未来よし

## 求む！四方よし企業情報

—中小企業診断士にお願いしたいことはありますか？

「これからの1000年を紡ぐ企業認定」の候補先の発掘ですね。多くの企業情報を中小企業診断士の方はお持ちだと思うので、ぜひ良い企業があればお知らせください。それから毎年7月頃から募集している「イノベーション・キュレーター塾」にもぜひご参加ください。社会的課題を解決・社会的課題を生まない社会を目指す視座をもってビジネスを導く人材育成を目指した塾ですが、経営者の方と接する中小企業診断士の方がそういった視座を広めることにつながれば影響力は大きいと思います。すでに複数名、中小企業診断士の卒業生の方がおられます。皆さんと一緒にSILKの理念を広げていければと思っています。



左から事務局長の遠山喜彦さん、川勝さん、コーディネーターの山中はるなさん、杉原恵さん

(取材 神戸 壯太/佐藤 智美)

## 中小企業の人材活用・育成支援

今回の研修では、「内発的動機で仕事をする人と組織」の作り方と、「中小企業の人材採用」の二部構成で、お話いたしました。ここでは



大企業とは全く違う「中小企業の人材採用」の実際、そしてその「採用方法」に焦点を絞り、皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

### 1. 中小企業の人材採用とは

中小企業の人材採用とは「中途採用」のことです。毎年新卒採用ができる会社の話ではありません。なかでもブルーカラーの職種において、その傾向は顕著になります。

また、自社にいないタイプの人材を採用することがコツです。同じタイプの人ばかり揃うと、組織は上手く回りません。「似たもの夫婦はダメ」なのです。

### 2. 「必ずしもこの仕事をしたかったわけではない」

非常に重要なことなのですが、中小企業に入社してくる人たちは、職種への憧れや、その仕事をしたい、といった思いがあって来ているわけではなく、仕事以外のため、たとえば結婚や子供のためにこの会社に来た、というのが本音であるということです。仕事の内容は、全くとは言いませんが、あまり関係がありません。そのような人たちに、教科書どおり「仕事での大きな目標」の設定をしても、現実にはほとんど無反応、成果主義などの評価制度も不満を生み出すだけで、なかなかうまくいきません。また「売上・利益・目標」を前面に押し出すと、本来お客様のほうを向くべき社員の気持ちが、社長や上司等の社内に向かってしまい、逆に売上・利益がダウンします。

物凄く優秀な人は中小企業に入社しません。

しかし、少し出来が悪い新人でも、その人をフォローし、育てていく「企業文化」があることが大切です。そのような会社は、自ら「いいオーラ」を発します。入社してきた新入社員にすぐに「できないレッテル」を貼るような会社は、考え直さなければなりません。

### 3. 威力を発揮するホームページ

まずは社員全員、自分の会社が大好きであるということアピールできる「ココロ・気持ち・オーラ強化型ホームページ」を作ることです。情報があふれる今の時代において、作り笑顔で仕事をする写真が載っている採用ページを作っても、「騙されないように、騙されないように」気を付けている応募者の心に響きません。

### 4. 誰と仕事をするのか

「いつ・どこで・どのような」仕事をするかを記載していても、「誰と仕事をするのか」を明示していない場合がほとんどです。応募者が考える「どのような会社か」とは、「どのような人がいる会社か」という意味です。

### 5. 経営理念

人材採用の観点から考えると、経営理念は「〇〇します」「〇〇ができます」のような得意アピールよりも、「〇〇はしません」「これだけは絶対に譲れない」という「誇り・らしさ」を感じられるようなものが、実際には応募者の心に届きます。

### 6. 人を選ばない会社は人からも選ばれない

きちんと採用基準を明示し、自社の考えに合わない人は応募してくれなくても仕方ない、とターゲットを明確にすることで、逆に訴求力が増し、人が集まってきます。「仕事の内容」は最大の重要事項ではなく、「今いる社員の幸せ」こそが人材採用に結びつくと考えています。

(中路 和宏)

# はんなり診断士



**中谷 健太**  
(なかに けんた)

株式会社新経営サービス

2012年に診断士登録し、2018年より京都協会でお世話になっております、中谷と申します。日頃は、京都に本社を構えます新経営グループのコンサル部門のマネージャーとしてコンサルタントの育成、金融機関や各種協会・業界団体などでの講師、そして中堅中小企業を中心に経営支援業務や組織開発・人事コンサルティングに従事しております。私自身は、とくに飲食・小売・宿泊・サービス業の支援を得意分野とし、2019年11月には商業界より新刊『店長会議をちょっと変えれば人事はもっとよくなる』も発刊させていただきました（現在、もう1冊執筆中）。プライベートでは、日曜日はラグビースクールのコーチやレフェリーをしております。

両親が会社経営をしていたこともあって、物心つ

いた頃には「いつか中小企業経営者の力になりたい」という思いが自然と芽生え、東京のコンサル会社に新卒入社したところから私のコンサルタント人生は始まりました。途中、外食事業会社の役員を5年ほど勤める期間もありましたが、また今の会社にコンサルタントとして復帰しました。

診断士の勉強を始めたきっかけは、実は診断士になりたいという動機ではなく、会社役員をやっていた時に、我流的な経営に違和感（様々な場面で経営の判断軸がなく、本当にこれが正しい判断なのかモヤとした感覚）を感じ、ならば経営を一から体系的に勉強しようと、本屋で手にとったのがたまたま診断士のテキストだったことです。私の場合、予備校に通わず、独学で学んでいましたが、その内容がすぐに日々の経営に置き換えられたので（自分の会社だけでなく、妻が経営する会社でも試しながら。上手いかなったことが多い。笑）、面白く勉強でき、そこはラッキーでした。

なかなか診断協会の活動に貢献できておらず申し訳ない思いですが、私も診断士の名に恥じないよう日頃のコンサルタント業務に精進していきますので、今後とも宜しく願いいたします。



**佐藤 智美**  
(さと う ともみ)

こくみん共済coop <全労済>

皆さまこんにちは、佐藤智美と申します。2019年4月に中小企業診断士登録をし、同時に京都府中小企業診断協会へ入会いたしました。共済事業団体に勤務しております企業内診断士で、10歳の息子がいます。

現在は、楽集会、人材開発研究会、食と農のビジネス研究会と3つの研究会に参加し、楽しく活動させてもらっています。私にとって診断協会は、普段の勤務先やママ友づきあいとは違ったサードプレイスであり、いろいろな方から刺激を受けられる場所です。ほとんどあいさつ代わりに「いつ独立するの?」とおっしゃられる諸先輩方を見て、こんな世界もあるもんだと思いました。

もともと中小企業診断士を目指した理由は、起業や新規事業開発に漠然とした興味を持っており、経

営に関する知識を総合的に学びたいと思ったからです。とはいえ、具体的なビジョンは何も描けていないのですが、「独立」や「起業」という言葉を当たり前のように口にされる会員の皆様に接するうちに、自分も一歩踏み出していきたいと思うようになりました。

今は「挑戦」をキーワードに、やれることはとにかく片っぱしからやってみようという気持ちで活動しています。勤務先に副業申請をして、執筆の仕事などを中心に少しずつ本業以外の仕事を始めました。またペーパードライバー歴20年に終止符を打ち、交通安全のお守りに祈りを捧げながら車の運転を始めたり、運動音痴なのにゴルフも始めてしまいました。さらに一眼レフミラーレスカメラを購入し、目下のところはカメラに挑戦中です。自分でもどこに向かおうとしているのか、今一つ分かっていないのですが、それでも多くの挑戦を繰り返す中で道が開けてきたらいいなと思っています。

なお、当紙「診断京都」の制作に今号より関わらせていただくことになりました。今後研究会の取材等で会員の皆様のお世話になることも多いかと存じますがどうぞよろしくお願いいたします。

## 第3回 更新研修報告

去る2月15日（土）に京都駅前のメルパルク京都に於いて、今年度3回目となる更新研修が行われました。



第1講目は、「中小機構の支援制度のご紹介 ～中小企業の経営力強化をサポート～」と題し、独立行政法人 中小企業基盤整備機構 近畿本部 企業支援部長の宮本幹様にご講義いただきました。第2講目は、京都診断協会の中路和宏会員より、「診断士が経営する中小企業 ～中小企業の人材活用と育成支援～」についてご講義いただき、100人を超える受講生の皆さんは熱心に聞き入っていました。

なお、中路会員の講演内容の要約を本誌に掲載しましたのでそちらも合わせてご覧ください。令和2年度も8月、10月、2月に開催予定ですので、積極的な受講をお待ちしております。

(杉村 麻記子)

特別  
研修会

## 新年祝賀会懇親会開催

令和2年1月17日（金）に都ホテル京都八条にて、特別研修会と新年祝賀会懇親会が開催されました。

第一部の特別研修会では、株式会社福市 代表取締役（Love & sense）であり京都市ソーシャルイノベーション研究所（SILK）イノベーション・キュレーター塾の塾長でもある高津 玉枝 様より「企業のブランド力を高めるSDGs～フェアトレードの実践を通して～」のテーマでご講演いただきました。高津様は認知度がまだ低かった頃からフェアトレードに取り組み、表参道ヒルズや阪急百貨店うめだ本店などへの出店を通じて事業を成功させてこられました。理念や志を掲げて経

営を進めていくことで、ブランド力の向上のみならず、優秀な社員の確保や社員のモチベーション向上など様々な効用があることを講演いただきました。またサプライチェーン全体において企業が責任を持つ重要性など企業とSDGsの関わり方について豊富な実例をふまえてご講義いただき、参加者の皆様は熱心に聞き入っておられました。

第二部の新年祝賀会懇親会では、ご来賓および京都協会会員の約50名の方々が参加しました。お忙しい公務の中急遽駆けつけてくださった京都市長 門川大作様始め、4名のご来賓よりご祝辞を頂戴した後、乾杯を行い新年祝賀会が始まり、終始和やかな雰囲気の中会員の交流が行われました。四方常任理事の中締めにより、令和2年の新年祝賀会は盛況のうちに終了しました。

(佐藤 智美)

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症対策の影響で、今回は診断京都の編集スケジュールが大幅に変更になりご迷惑をおかけいたしました。今後の計画としては、現在の8ページを12ページ構成に増やし、中小企業支援機関や金融機関の事業紹介のコーナーを拡大します。さらに、協会内のいろいろな研究会の活動状況や、所属する診断士の紹介なども充実させてまいります。冊子全体をカラー化し、よりビジュアルで読みやすく、写真などのイメージも増やして情報をわかりやすく伝える工夫を考えております。(あ)

## 京都診断協会の行事予定

5月23日（土）通常総会

診断京都

No. 129

2020年4月発行

一般社団法人京都府中小企業診断協会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町

78番地 京都経済センター403

TEL (075) 353-5381

FAX (075) 353-7540

メールアドレス info@shindan-kyoto.com

ホームページ <https://www.shindan-kyoto.com/>

印刷所 懶大気堂 TEL (075) 361-2321

FAX (075) 361-5047